

NEWS RELEASE

令和元年12月16日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

「観光遺産産業化ファンド」への出資について

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本淳之介）は、地方へのインバウンド誘客や地域の観光消費額の増加を目的として株式会社地域経済活性化支援機構（代表取締役社長 林 謙治 以下、「REVIC」といいます）などが設立・運営する「観光遺産産業化ファンド（以下、「本ファンド」といいます）」への出資を決定しましたのでお知らせします。

本ファンドは、訪日外国人旅行者にとって「日本ならではの」魅力を持つ観光資源である「観光遺産（文化遺産・自然遺産）」を活用する観光事業者に対し、出資及び経営人材のハンズオン支援等を通じて、地方へのインバウンド誘客及び地域の観光消費額増加等を図ることを目的としており、栃木県内の観光資源を生かした地域活性化に向け大きな役割を果たすことが期待できます。

当行は、今後とも地域の課題解決に積極的に取り組み、地域社会の発展に貢献してまいります。

記

本ファンドの概要

名称	観光遺産産業化ファンド（観光遺産産業化投資事業有限責任組合）
ファンド総額（予定）	30 億円
無限責任組合員（GP）	株式会社観光産業化投資基盤
有限責任組合員（LP）	株式会社栃木銀行、株式会社足利銀行 株式会社北洋銀行、株式会社岩手銀行 株式会社横浜銀行、株式会社山梨中央銀行 株式会社滋賀銀行、株式会社ゆうちょ銀行
設立日	令和元年6月19日
存続期間	約8年間

※下線は設立日後に新たに加入した組合員

以上